

秋田県横手市

# よこてfun通信

横手をもっと身近に、もっと楽しむ 交流情報紙

# 朝市に 想いを馳せて





いる庶民の台所

# いを馳せて

旬の野菜や新鮮な魚、種苗、包丁、衣服。さまざまなお店が並ぶ朝市では、個性派店主との語らいもお楽しみのひとつです。店主の想い、長く通い続ける横手人の想いが朝市文化を支えています。今回は、そんな歴史ある横手の朝市をたっぷりご紹介します。

生活様式の変化や買物の多様化によって朝市離れが進んでいると遠藤さんは話す。「出店者は少ないし客数も減った。このままだと400年以上続いている朝市がなくなる(無くなる)。朝市も変わらないといけないんだよ。浅舞の朝市は月に12回開催しているが、正午で閉店。そこで、使用していない午後や朝市の無い日をフリーマーケットなどで活用してもらえようと考えているという。これまで場所の移転や暮らしの変化で何度も中断しなくてはならない時があったけど、その時々の方が英知を

## 朝市存続のために 今自分たちができていることを

遠藤さんは約60年間、変わりゆく朝市を見てきた。「浅舞の朝市は平成4年に今の場所に移ったけど、その頃は売る人、買う人の出入りが一日千人いたんだ。毎回40店以上は出店していて、魚屋も6店舗あって、客が多かったから、それでもちゃんと売れてたんだよ。」

「俺が「うめ(おいしい)」「って言えば、たまたま少しは増えるけど、うめく感じと、品質と味が自慢の品をさるで、いつもの」と遠方から買ってくる客も多い。



今日もまた、浅舞の朝市には遠藤さんをはじめ、店主と客の声が響いている。

客の欲しいものを欲しい価格で売ること、遠藤さんの店はいつも多くの客でにぎわっている。店主に「来るの待ってらした」と、そう言われた客は笑顔で近況を話し始める。「俺は本当は無口でシャイだけど、ここさ来れば商売人だからな。都会の人は俺と見て懐かしいって言うんだ。『ブーテンの寅さん』がいるって。サンキューベリーマッチ！」

## 買い物と会話を楽しむ 朝市という文化

結果して今に続いているんだ。俺たちができることをやっていかないと次に進めねえがな。」



平鹿町市場商店会  
会長 遠藤 徳洋さん

## 変わらない良さもあるけど、 変わっていかないと次に進めないからね

## 多いときで一日千人が 出入りしていた浅舞の朝市

横手市平鹿地域で180年近く鮮魚店を営む遠藤魚店。その5代目が遠藤徳洋さん。「俺が朝市で売ろうようになったのは昭和37年4月1日から。朝市が無い日は、行商でリヤカーを引いて150軒くらい回ってたよ。」

## 400年以上の歴史を誇る 市神の石が起源 浅舞の朝市

- 営業期間/通年
- 営業時間/9:00~正午
- 営業日/毎月末尾に1,4,6,8の付く日(31日を除く)
- 場所/横手市平鹿町浅舞字浅舞 北都銀行浅舞支店そば



20店舗ほどの店が並んでおり、地元の新鮮野菜から日用品までそろっている。

1617年、浅舞の六日町に落ちてきた隕石を見ようと集まった人々を相手に露店を開いたことが浅舞の朝市のはじまりとされている。以前は六日町を中心に開催していたが、交通量が増え琵琶沼周辺に移動。その後、現在の場所に移り、排水処理などを整備した常設店舗形式になった。

隕石と伝わる「市神の石」。朝市の会場近くに現存している。



## 早朝の気持ちの良い空気の中で開催 みどりの朝市会

- 営業期間/6月第3土曜日~11月第2土曜日
- 営業時間/5:30~6:30頃  
※10月・11月 6:00~7:00頃  
※売り切れ次第終了
- 営業日/毎週水・土曜日
- 場所/横手市中央町  
横手市役所本庁舎 駐車場

昭和61年に農協の女性部が中心メンバーとなり始まった朝市。減反政策により稲作から転作した野菜などの販売場所として不定期に行われていたが、徐々に来場客が増えたことで日時を決めて開催されるようになった。多いときは64名の会員が在籍。早朝から新鮮な野菜や旬の果物、花、苗などを買いたい求める人々でにぎわう朝市となっている。



俺、わりと「しゃべり」が上手いからよ(笑)



話術と笑顔につられて  
思わず買っちゃおう包丁!?

浅舞、増田、十文字の朝市に出店している鍛冶屋の近田久さん。朝市に出店するようになって約50年、85歳になった今も自身で作った包丁を店頭で並べ売りもしている。まさに、横手の朝市の生き字引。包丁や鎌、ハサミの手入れの方法や朝市の今昔物語など何でも教えてくれる。

もちろん鍛冶屋としての腕も一流だ。包丁はどう研げばいいか心得があるんだ。ここで購入した刃物は、いつでも無料で研いでくれる。近田さんに会うために朝市を訪れる人も多い。横手が誇る鍛冶職人が話術と匠の技で朝市を盛り上げている。





横手に根付き愛されて

# 朝市に想



増田町市場商店会、十文字商栄会  
会長 石川 浩一さん

**店の数だけ、出会いと楽しさがある  
朝市はそういう場所だよ**

**朝市で知った  
商売の難しさと魅力**

石川さんは今から46年前、百貨店で修行した後、21歳の時から朝市で衣料品を販売している。「もともと母が朝市で衣料品を販売していたから助けたいと思ってね。百貨店での販売経験から、値段が付いているものなら売れるという自信があったが、「全くダメだった。お客さんは服を買いに来るのと同時に、人を買いに来てるんだよ。客から「今日母さんは？ 兄さんだけ？」と言われることもあった。当初は一人前に見てもらえなくてね。でも、だんだんと買ってくれるようになり、ありがたかった。

**先人たちがつないできた  
朝市文化を次世代へ**

昔と今とは朝市の様子は全く違うという。「孫とおばあちゃんが一緒に来たとき、おばあちゃんが「これ、まげでねが（これ、値引きしてくれませんか）」と言ったら、孫が「ばあちゃん、そんなこと言うな」と。私は「まげでねが」と言われるのは嫌じゃないんです。これは「ミニミニエーションだから」。店から聞こえてくる「久しぶりだなあ。元気だったか？」の音が朝市の魅力の一つだ。

人とのつながりや対話を大事に商いを続けてきたが、出店数、客数共に現状は

石川会長直伝

**朝市を売り込むコツ**

「自分を売り込め！」  
店主に遠慮なく話かけて仲良くなること、その店のいいものを安く買う秘訣です。高い確率で、おまけが付いてくるかも!?  
1〜2分話をし、自分（客自身）のことをアピールしてみてください。



厳しい。「私が十文字の朝市に来た当時は50店舗はあったよ。衣料品店だけで7店舗。増田も十文字も出店者の高齢化が進み、年々店舗数が減っている。「お客さんもうるんな物を売っている所に行きたいはず。せつかく来ていたいても店舗数が少ないと申し訳なくて」。石川さんは、新しい出店者の確保が急務だという。「これまで各店が営業努力を続けて朝市を受け継いできました。私たちの代で終わらせるわけにはいかない。この朝市も一度失われれば、忘れ去られて終わり。次世代に朝市という文化をつないでいくためにも、新しい出店者も、募集中です」と、熱く訴える。

## 1643年にはじまった 歴史ある朝市 増田の朝市

- 営業期間/ 通年
- 営業時間/ 7:00～正午
- 営業日/ 毎月末尾に2、5、9の付く日
- 場所/ 横手市増田町増田字中町  
くらしっくロード内 朝市通り



山菜を求める客でにぎわう青果店の様子。

370年以上の歴史を誇る朝市。以前は中七日町通りで開催していたが、交通量が多くなり現在の「増田町朝市通り」に場所を移動した。  
販売されている品目は、地物野菜や山菜、青果、野菜の苗、和菓子など多岐に渡っている。買い物後は、内蔵散策やカフェで一息つくのもオススメ。



## 地元客の憩いの場として定着 十文字の朝市

- 営業期間/ 通年
- 営業時間/ 8:00～正午
- 営業日/ 毎月末尾に3、7、0の付く日
- 場所/ 横手市十文字町腕越字西原  
十文字郵便局そば



花や種苗、野菜、衣料品、菓子類などがそろっている。



**手作りの味にファンが多い漬物店**



十文字と増田で漬物店を出店している佐々木好子さん。取材中、梅漬を数個まとめ買いする客がいるほどの人気店だ。「店を出して約50年になるな。だとも、最近では漬物作りも規制が厳しくなると話す。「3年物の味噌漬はしょっぱさの角がとれてうめよ」。ファンも多い漬物をぜひ買いに来てほしい。

十文字駅開業に合わせて開設されたが、本格的に始まったのが1922年。かつては十文字神社から曙町まで約100メートルにわたって店舗が並ぶほど大盛況だったという。交通量が多くなったことで場所を移動し、現在に至っている。

### 朝市トリビア

**「初午の日は開催しない」**  
初午の早い年は火事が多いという、火に関する俗信があります。「火が早くまわって縁起が悪い」ということで、増田と十文字の朝市は開催しません。浅舞は各店におまかせしているそうです。

今回の朝市特集はいかがでしたでしょうか？いつの時代も変わらない売り子の元気な姿は朝市の魅力の一つです。一方でキャッシュレス決済ができる店舗があるなど、現代に合わせた販売スタイルにも対応しています。昔ながらの朝市文化を継承しながら、朝市存続のため新たな魅力づくりに挑戦中。  
人との触れ合いで生まれる癒やしの時間と雰囲気存分に楽しんでください。



# ひろがる横手応援市民! つながる横手愛!



横手市との「関わり方」は十人十色。  
あなたの色はどんな色?

## 横手コミュニティを盛り上げる

- ★いますぐにできること
  - ・自分のまわりに横手出身者がいないか探してみる。(職場、サークル、ジム仲間etc)
  - ・横手の人とSNSでつながってみる。
- ★チャレンジしてみたいこと
  - ・横手「推し」の人同士でつながり、「よこて同好会」を作る。
  - ・応援市民同士でまちづくり団体を立ち上げる。

## 物産品の購入

- ★いますぐにできること
  - ・いつも行くお店に横手産の商品がないか探してみる。
- ★チャレンジしてみたいこと
  - ・横手産の商品を購入し、周りの人にもおすすめする。

## ふるさと納税

- ★いますぐにできること
  - ・横手市ふるさと納税のページを見してみる。
- ★チャレンジしてみたいこと
  - ・ふるさと納税し、お礼品を受け取る。

## 頻繁な訪問

- ★いますぐにできること
  - ・横手市のHP、公式Facebook、Twitterにアクセスしてみる。
- ★チャレンジしてみたいこと
  - ・横手市民より横手に詳しくなる。



## イベント協力

- ★いますぐにできること
  - ・近隣で行われる、横手関連のイベントがないか調べて参加する。
- ★チャレンジしてみたいこと
  - ・横手のお祭りや行事に「来る人(=観客)」ではなく「やる人(=演者)」として関わる。

## 二地域居住

## 二地域居住

- ★いますぐにできること
  - ・横手の物件情報を検索する。
  - ・横手の観光スポットを探す。
- ★チャレンジしてみたいこと
  - ・空き家を借りてテレワークをする。
  - ・保養施設で温泉に入りながらワーケーション。

## 現地ボランティア

## 現地ボランティア

- ★いますぐにできること
  - ・横手のボランティア募集状況を調べてみる。
- ★チャレンジしてみたいこと
  - ・人手不足の農家にお手伝いに行く。
  - ・除雪ボランティアとして活動する。

横手市では、国が「関係人口」を提唱する以前から、市外に住んでいても「心の中心が横手市」であり、市へ有形無形の応援を行ってくれる人々を応援人口と定義し、平成27年度以降、応援人口の創出・拡大を進めてきました。

そして、「横手を想う気持ちを何らかの行動に移せる人」を応援市民と位置づけ、自分ができる範囲で横手との関わりを持っていただき、応援してもらえよう呼びかけをしています。

## 提案されたアイデアと寄せられたリアクション(抜粋)

### ◆雪が降れば降るほどラッキーになれる!

その日の積雪量に応じてお買い物ポイントの倍率が上がるアイデア。

◎逆転の発想がすばらしいと思いました。雪深い横手でもラッキーと思えるすてきなアイデアだと思います。



### ◆子育て世代注目!

木のおもちゃや木製遊具をアレンジして、子どもたちが夢中で遊べる「木育ひろば」を作りたい!!

◎話題のSDGsに着目しながらも、子どもたちが遊べるスペースができるのはとてもうれしいことだと思います!

◎子連れにはなんと嬉しい提案でしょうか。特に冬は遊び場も少なく、買い物をしながら子どもが遊んで待っていてくれるところがあれば最高です!

◎地元の資源活用×教育という視点の木育広場がとてすてきだと思います。



### ◆今日のラッキーさん

店員1名がその日1日「ラッキーさん」となり、利用客へお声掛けすることでラッキーな気分になってもらうアイデア。

◎お買い物ももっと楽しくなって、お客さんもたくさん来て、お買物を通してコミュニケーションが生まれるすてきなアイデアだと思います。



令和3年度に応援人口との関係をさらに深化させることを目的に、東北大学との共同研究を行いました。大学生と市職員混合で、Team-A～Dの4チームを結成し、それぞれのチームの視点で応援人口との関係深化策を考えました。

その中の一つTeam-Cで出された「出張アイデアスペースHOGEL(ほげる)」の設置についてテストイベントを市内店舗協力のもと実施しましたので、その結果を紹介いたします。



## 出張アイデアスペースHOGELについて

Team-Cでは、横手市の現状を「市民の地元愛や自己肯定感が低い状況」とであると捉え、それが、「地元愛の減少」「若者の流出」「コミュニティ弱体化」の負のスパイラルに繋がっていると考えました。そのような状況を「誰もが気軽に集い、意見できる場所」を作ることで横手を活性化させ、「横手への興味関心アップ」「自由に表現できる風土醸成」「アイデアの6次産業化」の3つを循環させる仕組みが出張アイデアスペースHOGELとなります。

## 今回実施したイベントのコンセプトは「アイデア&リアクション」

アイデアを出すのが難しい人でも誰かのアイデアを評価したり、共感したり、深堀りしたりすることで自分のアイデア力も向上させる。

また、アイデアを出した人は、自分のアイデアに対したくさんの人に反応してもらうことでアイデアを出すことに喜びを感じてもらおうとともに、さらにアイデアに磨きをかけることができる。

## 今回のイベントの流れ

- ①「みんながもっとラッキーになる」をテーマにアイデアを募集
  - ②応募いただいたすべてのアイデアを協力店舗内の特設会場と市Webサイトで公開
  - ③それぞれのアイデアに対する「リアクション(意見・感想)」を市Webサイトで募集
- ※当初は、店舗内の特設会場で直接意見や感想を出し合う場を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点より今回の方式に変更したものです。

## 結果

ラッキーになるアイデアは13件集まり、それに対する意見や感想を134件いただくことができました。提案いただいたアイデアや寄せられた皆さまからの意見・感想の一部を左側で紹介いたします。

今回のテストイベントの実施により、提案いただいたアイデアの有効性を確認できること、さらなるアイデアが生まれる場としての手応えを得ることができたことを実感しました。



# 描く、よこてでライフ。

多様な働き方の一つとして注目されているワーケーションと地方移住。そんな、「横手で仕事をしたい、起業したい」という方をサポートする2施設を紹介します。

## Bizサポートよこて

横手駅前町1-21 Y<sup>2</sup>ふらざ3階 (HP)<https://biz-supo-yokote.jp>

横手市が提供する機能性・デザイン性に優れた共有型ワーク施設。パーソナルオフィスなども低コストで利用でき、起業する方のスタートアップオフィスとしてオススメです。



POINT

仕事や起業の拠点となる環境は整っています。移住コンシェルジュとして、市を通じて移住や起業・創業・キャリアの相談をオンラインでも受け付けています。お気軽にご相談ください！

移住コンシェルジュ  
鈴木尚登さん  
(Sailing Road代表)  
NPO法人秋田キャリア  
支援ネットワーク代表理事  
働くことや仕事に関する  
悩み、起業支援や起業家育成  
の専門家です。

## コワーキングスペース かま蔵

横手市四日町6-6 (HP)<https://select-type.com/p/workspace-kamakura/>

120年以上前の旧家の内蔵(うちぐら)を利用したコワーキングスペース。蔵の中にある落ち着いたフリースペースが利用でき、オフィススペースも完備しています。



POINT

上写真は、かま蔵入り口の個人スペースです。オフィススペースは起業のためのスタートオフィスとして、また地元企業のサブオフィスとして利用が可能です。

4~6名で仕事ができるスペースもあります。

### 横手でワーケーションをしてみた！

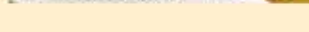
心身ともにリフレッシュができ、新しい価値観や発想が生まれるかも!?多様な働き方の一つとして、横手市でのワーケーションはいかがですか？

1日目

横手駅到着



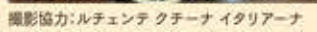
Bizサポでリモートワーク



市内の温泉施設に宿泊



イタリア料理店でランチ



2日目



横手城展望台で市街を一望



おみやげを選び横手駅へ



横手やきそばを堪能

### 移住マッチングサービスの活用

移住マッチングサービス「ビタマチ」で、移住アドバイザーによる「よこて暮らし」の紹介など、リアルな横手市を知っていただけるような情報を発信しています。



(HP)

### 移住定住促進動画によるPR

横手での暮らしをイメージしていただけるよう、横手の四季と人々の生活をテーマに制作した動画を、市公式YouTubeにて公開しています。ぜひご視聴ください。



(YouTube)

### オンライン移住相談受付中!

Zoomを活用したオンライン移住相談を実施しています。横手市への移住を検討している方など、どなたでもお気軽にお申し込みください。オンライン移住相談の詳細は、横手市のホームページをご覧ください。



(横手市HP)

お問い合わせ 横手市役所総務企画部 経営企画課 TEL.0182-35-2164

よこてで働き、よこてで暮らす

## よこての魅力企業を紹介します

横手には、この地に会社を構え、世界に通用する技術や製品を有した、魅力的な企業がたくさんあります。

### アスカフーズ株式会社

「次世代の食文化をひらく」をモットーに米を通して秋田の「おいしさ」を発信する企業

「アスカフーズ株式会社」は米穀食品総合会社です。米穀事業部では米流通のプロとして、昭和48年に米穀収荷業を創業して以来培ってきた技術で主食米や酒米の精米及び販売を行っています。

食品事業部では米飯を中心とした受注型の冷凍食品の製造を手がけ、全国の大手飲食店や食品メーカーと取引を行っています。地元の農家が栽培した米を敷地内の工場で精米し、横手市平鹿町浅舞の天然地下水で直火で炊き上げ米のおいしさを引き出します。手作業と機械設備の独自の分担によって、ニーズに合わせた細やかな対応も可能にしています。

また、今年1月には、安全な食糧物を製造するための仕組み作りの国際規格認証、「FSSC 22000」を取得しました。

### 先輩のシゴト

INTERVIEW



いとう ひゅうろ  
伊藤 陽祐さん  
2017年4月入社

食品事業部の製造部で製品化の管理を担当しています。検査機器などを通してベルトコンベアで流れてきた製品を検品し、ダンボールに詰める作業を行っています。多いときには1ラインに8千食の製品が流れてくるので、しっかりと検品しながら的確に箱詰めするように心がけています。私たちがつくった商品がお客様に喜んでもらえることにやりがいを感じます。知識や経験を重ねて、できることを増やしていきたいです。

### うちの会社がすごい

PR POINT

食品安全マネジメントシステムに関する国際規格「FSSC 22000」を取得しました。より一層「おいしさ」「楽しさ」「安心」に磨きかけた商品をお届けしていきます。



従業員数120名  
設立/1973年11月  
住所/横手市平鹿町中吉田字上藤根143  
TEL.0182-24-0330  
<https://www.asucafoods.com>



→主食精米部や日本酒用米専用の施設がある米穀事業部。



→火加減の調節は職人技を持つ社員の手作業。弁当やグラタンなどの冷凍食品も手がけています。





# がんばる横手人 拡大版

よこてびと

この冬、北京冬季オリンピック・パラリンピックに出場した横手市出身選手にインタビュー！レースの感想や北京での様子、今後の目標などをうかがいました。



写真提供:アフロ

現在は、地元横手を拠点に来シーズンに向けてトレーニングを開始している。「普段は近所のスーパーに買物に行ったり、友達とおしゃべりをしたりして過ごしています」と地元を満喫している様子。今後の目標の一つに「地元への恩返し」を挙げている。「スポーツの力で横手を元気にしたいです。よこてfun通信の読者のみなさん、ぜひ横手に遊びに来てください」。

熱い地元愛を胸にスキーヤーとして成長し続ける向川さん。今後の活躍にも期待が膨らむ。

## スポーツの力で 地元へ恩返しをしたい

「北京オリンピックへの出場が決まってからビックリするほど多くの方々から応援の声やメッセージをいただきました。応援を力に変え、夢の舞台を思いっきり楽しんだ。大会の結果について、「家族から」とにかく「ゴールして！」と言われていたので、初戦の大回転でゴールできたときはホッとしました。それが自信となり回転競技にも落ち着いて臨めました。順位には悔しい気持ちもありますが、オリンピックで滑り切る姿を見せられたことで今まで支えてくれた方々への恩返しになればうれしいです」。

夢を実現するために必要なことは、「目の前のことを一つひとつ大事にすること」と真っ直ぐな目で話す向川さん。「失敗しても諦めないことが私の強み。思い描く通りに滑ってもタイムが良くなかったり、良い滑りだと思わないときに好タイムが出たりすることもあります。だからミスをしたとしても諦めずに滑り切ることに大切に」。

## 目の前にあることを一つひとつ大事にして 日々を積み重ねることが夢への第一歩

### 出場を逃した悔しさと 応援されることへの感謝

北京オリンピックの代表に決まるまで不安だったという向川さん。前回の平昌オリンピックの選考大会では、スタート直後にスキー板が外れるというアクシデントに見舞われ、平昌への挑戦は幕を降ろした。「神様っていいのかなと思った」と当時を振り返る。「平昌オリンピックを目標に、所属先やスポンサーをはじめ、多くの方々から応援や支援を受けてきました。それまでの大会で手応えがあった期待も大きかっただけに、この結果は本当に辛かったです」。その後の北京オリンピックを目指すにしても、今まで通り応援やスポンサーを続けてもらえない不安があった。「でも、『北京を目指しなさい』と皆さんが言ってくれて、それまでと変わらなくサポートを続けてくださいました。おかげでアスリートとしての環境を維持したまま北京を目指すことができ感謝しています。オリンピックへの挑戦は一人では難しいことなので、改めて応援をいただけること

### 夢の舞台を滑り切った たくさんの応援を力に変えて

「北京オリンピックへの出場が決まってからビックリするほど多くの方々から応援の声やメッセージをいただきました。応援を力に変え、夢の舞台を思いっきり楽しんだ。大会の結果について、「家族から」とにかく「ゴールして！」と言われていたので、初戦の大回転でゴールできたときはホッとしました。それが自信となり回転競技にも落ち着いて臨めました。順位には悔しい気持ちもありますが、オリンピックで滑り切る姿を見せられたことで今まで支えてくれた方々への恩返しになればうれしいです」。

夢を実現するために必要なことは、「目の前のことを一つひとつ大事にすること」と真っ直ぐな目で話す向川さん。「失敗しても諦めないことが私の強み。思い描く通りに滑ってもタイムが良くなかったり、良い滑りだと思わないときに好タイムが出たりすることもあります。だからミスをしたとしても諦めずに滑り切ることに大切に」。



## アルペンスキー男子座位 (株式会社コロニアスポーツウェアジャパン 所属) 藤原 哲さん

ふじわら てつ / 41歳 / 増田地域出身、福島県天栄村在住  
横手工業高校(現横手清陵学院高校)卒業。チェアスキーを始めて9年という早さでパラリンピックに出場。北京パラリンピック男子大回転(座位)23位、男子スーパー大回転(座位)、男子スーパー複合(座位)、男子回転(座位)出場。



## アルペンスキー (富士フィルムBI秋田株式会社 所属) 向川 桜子さん

むこうがわ さくらこ / 30歳 / 横手地域出身  
角館高校、早稲田大学教育学部卒業。2010年より日本代表として活躍。県出身選手で初めて五輪のアルペン競技に出場し、大回転で31位、回転で35位だった。



写真提供:アフロ

横手に帰省したときは同級生や友達に会うことを楽しみにしている。「地元を大切にしたい」と話す藤原さんの新たな挑戦を応援していきたい。

## 悔しさをバネに ミラノでの活躍を誓う

今の最大の目標は「ミラノ冬季パラリンピックでメダルを獲得すること」。チェアスキーを始めた9年前からミラノを視野に入れて奮闘してきた。北京でパラリンピックならではの雰囲気や規模の大きさを体感できたことは、貴重な経験となったと感じている。「地元の皆さんからたくさん応援をいただきがんばることができました。今回の悔しさをバネに次のミラノに向けてより一層精進していきますので応援よろしくお願ひします」。

## 地元から届いた声援を胸に出場した 北京冬季パラリンピック

### 苦難を乗り越え チェアスキーの道へ

3歳からスキーをはじめ、地元の天下森スキー場で練習に励んだ。「子どもの頃は近所の山や川でよく遊んでいました。天下森スキー場のナイターでよく練習していましたね」。

地域の大会で好成績を残し、スキー推薦で横手工業高校(現横手清陵学院高校)へ進学。その後間もなくして、スキー部の合宿中に脊髄を損傷する事故にあう。ヘルメットをかぶっていなかったら命を落としていたかもしれないほどの事故だった。厳しいリハビリやトレーニングを経て車椅子に乗れるようになり、一年後に復学。それから32歳までスキーからは遠ざかっていたが、知人のすすめでチェアスキーのイベントに参加した。「まさか、またスキーをやるとは思っていませんでした。体験してみたら、滑れてしまっただけで、事故があったときの記憶が全く無いので、滑っていて恐怖心はありません」。

幼い頃から親しんだスキーは、ブランクがスリップしたことが転倒につながり、マシンを調整する重要性も痛感しました」。

### 厳しいコースでも果敢に攻める 課題も見えた初出場

北京パラリンピックのコースについて、「今まで滑ってきたどのコースより難しかった」と振り返る。急斜面の上、雪質が非常に硬く時間に変化するコースで、レース前の練習で転倒者が続出し骨折した選手もいた。そんな状況でも藤原さんはスタート直後から果敢に攻めた。「パラリンピックの出場をかけた国内の選考レースではとても緊張しましたが、北京ではリラックスしてスタート台に立てました。友人や知人から届いた応援メッセージが後押しとなり、思い切りのいいスタートを切ることができました」。

出場した4種目のうち、3種目で転倒し途中棄権という結果には課題も見えた。強化していた高速系で結果が出せなかったことはとても悔しいです。マシンが雪面に着いてスリップしたことが転倒につながり、マシンを調整する重要性も痛感しました」。



# 横手のチカラ

## あさひこども食堂

(写真左より)

代表:坂上 喜也さん

さかのうえ よしや/54歳  
横手地域在住

副代表:奥山 ひとみさん

おくやまひとみ/53歳  
横手地域在住

2016年9月にあさひこども食堂を設立。月1回公民館行事に併せて開催していたが、2年目以降は参加者のニーズに応え月2回(昼・夜)定期開催している。



流しそうめんの様子。



### 地域の子どもたちを地域で見守り育む、あさひこども食堂

皆が気兼ねなく参加できる  
雰囲気づくりを大切に

子ども食堂とは、子どもたちに無料または低料金で食事を提供する取り組みである。

「横手市内にも長期休み明けに、身体がやせ細ってしまう子どもたちが実際にいたんですよ」と奥山さん。

「小学校のPTA役員活動を通してわかったのは、学校側では食事が十分に取れていない児童や生徒がある程度把握することはできるが、個別に学校側から支援するのはとても難しいということ」と、坂上さんはもどかしそうに話す。

そこで、手作りのご飯を食べたり一緒に遊んだり、おしゃべりしたりと皆が安心して過ごせる空間、場所を作ろうと提案。設立当初はお二人がPTA役員だった旭小学校の子どもたち向けに活動を行っていたが、気兼ねなく参加できる雰囲気とおいしいメニューが人気となり、徐々に年齢や地域関係なく参加者も増えた。坂上さんは、「支援を必要としている方に来ていただくためには、一人でも多くの方に私たちの活動を知ってもらう必要がある」と、講演の依頼があれば断らずお受けしています。そうすることで活動を知った民生委員の方が必要な方に声をかけてくれるからです。届いてほしいところやサポートがいき渡り始めたと感じています」と、活動の手応えも感じている。

お二人は食堂を訪れる方々の「生活を支えている」という気持ちでは運営していないと声をそろえて言う。いつ誰か一人親になるかもしれない、コロナで職を失うかもしれない。すべては「お互いさま」という気持ちで原動力になっている。

食材は、地元の農家やフードバンク、秋田などから提供いただいている。また、活動資金は地元企業や奉仕団体、有志からの寄付に加え、助成金制度を活用。開催日には地域の方々

が調理やイベント準備を行う。食材の確保には困っていないが、保管場所がないのが悩んだという。使い切れない場合は他地域で活動している子ども食堂へ食材をおすそわけすることもある。

### コロナ禍で見えた新たなカタチと課題

現在のコロナ禍において食事が開催できないときは弁当を配るスタイルに変更。そうしたところ、食事で皆と食べるのが苦手な方が、弁当の配布をきっかけに利用するようになったという。「公共施設が使えなくなった際には、1ヶ月近く開催できませんでした。このとき、自分たち専用の調理場があればと思いました。調理さえできれば、食事を開催できなくても弁当を渡すことはできますから」と話す奥山さん。

会では夏に開催する流しそうめんが大好評だ。そうめん以外にミニトマトやキュウリを流し、子どもたちは学区や学年関係なく楽しく過ごす。クリスマスが近づくと皆で料理やケーキを食べ、レクリエーションをし、プレゼントをもらって帰る。奥山さんは、「子どもの頃の食べ物、思い出はとて大切ですよ」と優しく微笑む。

### 食を通してつながるコミュニティとしての役割

子ども食堂を訪れる人々には「大変だが」と聞くことはしていない



「協力金は払っても払わなくてもいいんです。高齢の方もいらっしゃいます。『おれだぞ、何も手伝えぬえがら』と多くの方が200円以上入れてくれます」と奥山さん。



夏のスイカ割り人気イベントの一つ。

**(夜のこども食堂)**  
●開催日時/第2日曜日 17:30~19:00  
**(みんなのこども食堂)**  
●開催日時/第4日曜日 11:30~13:00  
●料金/子ども 無料  
大人 200円の協力金(任意)  
●会場/旭ふれあい館  
●問い合わせ/あさひこども食堂  
代表 坂上喜也 TEL.090-2981-6503

QRコード (Facebook) (Instagram)

「飯を食べるだけではない、コミュニティの場としても多くの方が参加している。皆が自分ができることを少しずつ行動に移すことで、支援の輪が広がってきた。地域にこの活動が根付いていけば、さらに多くの子どもたちの笑顔につながっていくことだろう。」

令和4年5月 ▶ 令和4年9月

## 横手市のイベント情報

新型コロナウイルス感染状況によっては、中止または延期、内容が変更される場合がありますのでご注意ください。  
この他、各種イベントの開催予定については横手市ホームページをご確認ください。

**増田地域 デビュー45周年高橋葉介原画展**  
●開催日/令和4年5月1日(日)~7月18日(月・祝)  
●会場/横手市増田まんが美術館 1階特別展示室  
●問/横手市増田まんが美術館 TEL.0182-45-5569

**山内地域 黒沢わらび園**  
●開催日/令和4年5月下旬~6月下旬(要予約)  
●会場/山内黒沢字上ノ山内内  
●問/黒沢わらび生産組合(代表 森田喜七)  
TEL.0182-53-3329

**山内地域 三又わらび園**  
●開催日/令和4年5月下旬~7月下旬(要予約)  
●会場/山内三又地内  
●問/三又営農生産組合(組合長 石沢英夫)  
TEL.090-7524-8247

**平鹿地域 第41回浅舞公園あやめまつり**  
●開催日/令和4年6月18日(土)~6月26日(日)  
●会場/浅舞公園  
●問/平鹿町観光協会 TEL.0182-24-1118

**雄物川地域 おもフェス2022**  
●開催日/令和4年7月17日(日)  
●会場/雄物川中央公園  
●問/おもしろ実行委員会事務局 TEL.0182-22-2187

**増田地域 BLEACH生誕20周年記念原画展 BLEACH EX.**  
●開催日/令和4年7月9日(土)~9月25日(日)  
●会場/横手市増田まんが美術館 1階コンベンションホール  
●問/横手市増田まんが美術館 TEL.0182-45-5569

**横手地域 山内杜氏組合創立100周年 記念講演会**  
●開催日/令和4年7月22日(金)  
●会場/かまくら館 2Fホール  
●問/(一社)横手市観光推進機構内 山内杜氏組合 TEL.0182-38-8652

**横手地域 よこての全国線香花火大会**  
●開催日/令和4年7月23日(土)  
●会場/蛇の崎川原  
●問/よこての全国線香花火大会実行委員会 TEL.0182-33-7111

**大雄地域 2022 大雄サマーフェスティバル**  
●開催日/令和4年7月30日(土)  
●会場/楽天イーグルスタジアム大雄 敷地内  
●問/大雄地域課 産業建設係 TEL.0182-52-2111

**横手地域 え〜どご「県南」よってげ市**  
●開催日/令和4年7月30日(土)、31日(日)  
●会場/秋田ふるさと村  
●問/横手の魅力営業課 TEL.0182-32-2117

**横手地域 横手の送り盆まつり**  
●開催日/令和4年8月15日(月)、16日(火)  
●会場/市役所本庁舎前、蛇の崎川原  
●問/(一社)横手市観光協会 TEL.0182-33-7111

**大雄地域 たいゆう緑花園**  
●開催日/令和4年8月中旬~9月下旬  
●会場/大雄字精兵西121-1  
●問/大雄地域課 産業建設係 TEL.0182-52-2111

**横手地域 横手駅東口まつり**  
●開催日/令和4年9月11日(日)  
●会場/横手駅東口  
●問/(一社)横手市観光推進機構 TEL.0182-38-8652

**増田地域 増田の花火**  
●開催日/令和4年9月14日(水)  
●会場/増田町八木下川原  
●問/(一社)増田町観光協会 TEL.0182-45-5541

**山内地域 いものこまつりin鶴ヶ池**  
●開催日/令和4年9月18日(日)  
●会場/山内地域内  
●問/いものこまつりin鶴ヶ池実行委員会事務局 (山内地域課産業建設係) TEL.0182-53-2111

**横手地域 よこてシティハーフマラソン**  
●開催日/令和4年9月25日(日)  
●会場/横手市内  
●問/よこてシティハーフマラソン大会事務局 (一財)横手市体育協会事務局内 TEL.0182-38-8122



# 父さんにアイコとヒデコの誘惑？の巻

母さんの様子がこのごろおかしい。最初に気が付いたのは次女のちなみだ。「母さん、心配ごともあるのだが？」いつもは明るい母さんがムキになった。「ねえよ、そんなこと。ひとつもね」ちなみが、母さんの手に握られていたメモを取り上げると、アイコ 来週必ずという走り書きと携帯番号が書いてある。父さんのポケットから出てきたという。騒ぎを聞いてやってきたのは、三女の高校生つぼみと、在宅ワークの徹夜明けで機嫌が悪い長女さとみだ。「アイコって、アレじゃない？ 女の人」「これ父さんの字だよ。やだ」「電話かけてみるが？」「女の人が出たらならんて言うの」「やめられて、やめてくれ」



父さん

逃げだした母さんが奥の部屋で洗濯物をたたみはじめたところへ、何も知らずに帰ってきた父さんは娘たちに囲まれた。さとみがつつきつけたメモに父さんは、「お、これこれ。なくしたと思ってた」「何よそれ？ だいたいこれ誰なの？」「山菜獲り名人の徳さんの電話番号だよ。来週アイコ獲りに行くって約束して」沈黙の後で、ちなみが口を開いた。「アイコ、って、あの山菜の？」「うん。日曜は山菜の女王も獲りに行く。留さんの番号は、えーっと」父さんがズボンのポケットを探りはじめたとき、母さんが別のメモを持って泣きながら走ってきた。「スポンさんたもの入ってらっけ」そこにはヒデコ女王様。続けて留さんの携帯が書いてあった。



アイコ (ミヤマミラクサ) ヒデコ (山菜の女王 ショオデ)

写真: 秋田のグリーン・ツーリズム総合情報サイト

## ちなみの名推理

奥羽山脈と出羽山地に囲まれた横手は山菜王国。アイコはミヤマミラクサ。ヒデコはシオデという人気の山菜です。父さんは山菜獲りに行く約束をしたメモを母さんに見つかってしまったようです。

## 季節のよこて弁

- 結(ゆい)っこ** 田植えなどの農作業を手伝う仲間たちのことです。労力でお返しするのが「結っこなし」です。
- さなぶり** 田植え後の慰労会です。「サ」という田の神様が、作業を見届けて天に昇っていく「サ登り」が語源。
- うるがす** うるおしてふやかすために水に浸けること。事態の好転を期待して根拠なく放置すること。



シリーズ方言家族

# 秋田美人三姉妹のよこて弁ミステリー

秋田美人発祥の地 横手盆地に住む架空の5人家族が横手の方言「よこて弁」のミステリーに挑みます。

YOKOTE-BEN MISTERY

構成・高橋純



長女 さとみ

大人の女性をめざす地元フリーペーパーの編集者。頼れる姉だが恋も仕事も詰めはイマイチ。



次女 ちなみ

家族の中ではいちばんの食いしん坊。栄養士を夢見て専門学校に通学中。趣味は料理と食べること。



三女 つぼみ

都会にあこがれる天然ボケの高校生。将来の夢は、「わかんない」(本人談)



母さん



動画も見てね!



よこて弁ミステリー 再現ドラマ

月めくりよこて弁

2022年 6月 令和4年

# こげら

【魚のうろこ】

むかし屋根を木切れで葺いた「こげら葺き」が魚のうろこに似ていたのでそう言われます。こげらもトギも立派なニシンの「カド焼き」は、初夏の旬の味です。

使い方 「こげら取ってハヤしてけれ」  
訳: 魚のうろこを取って切り身にしてね

よこて弁 初夏場所

大相撲に見立てたよこて弁対決

水泳	みずあぶり	おもて通り	きやど	泥はね	すばね	朝の出動	はがおれ	なす	あんちやめ	おにのちゃん
	水に漬ける	山道	ひやっこ	アイシのおつち	きやりこ	夕方の道徳	よあがり	みょう	おんちやこ	おんちやこ

## 首都圏 横手市物産展・フェア開催情報

市では、次の物産展・フェアを計画しています。新型コロナウイルス感染状況によっては、中止または内容を変更する場合があります。

最新の開催情報については、横手市ホームページをご確認ください。

**物産展 リトルよこて**

- ◆開催予定日/令和4年6月28日(火)~7月3日(日)
- ◆開催場所/東京都品川区 武蔵小山商店街パルム 貸店舗

**物産展 秋田県横手市物産展**

- ◆開催予定日/令和4年7月28日(木)~8月3日(水)
- ◆開催場所/東京都世田谷区 二子玉川東急フードショー

**フェア 九州屋スイカフェア**

- ◆開催予定日/令和4年7月30日(土)~7月31日(日)
- ◆開催場所/東京都内 九州屋各店舗

●お問い合わせ/横手市役所商工観光部 横手の魅力営業課 TEL.0182-32-2117

詳細はこちらから

## 旬感よこて!フルーツ&米ロード かまくら・ライド2022

9月18日(日)開催決定!!

おいしいフルーツと黄金に輝く稲穂の道を五感で楽しみながら、横手市内全域を巡るサイクリングイベントが開催されます。10キロ~15キロ間隔である休憩所では市特産の食べ物をお腹いっぱい味わうことができます。

3コースあるので、小さなお子様から大人まで楽しめます!

- ロングコース (106km)
- ミドルコース (52km)
- ファミリーコース (18km)

●お問い合わせ/かまくら・ライド実行委員会 TEL.080-2370-6078

詳細はこちらから

**よこてfun通信 継続好読の手続きについて**

引っ越し等により住所変更が生じた場合は、よこてfun通信の継続好読手続きを右記のいずれかによりお願いいたします。

①電話で連絡 TEL.0182-32-2117 横手の魅力営業課へお電話ください。 ※お名前、従前の住所、新住所をお知らせください。

②ネットで連絡 右記QRコードのご住所・宛名変更フォームにて、変更した住所をお知らせください。

(横手市HP)



# こちら首都圏ふるさと会

入会のお申し込み等は、各ふるさと会へお気軽にお問い合わせください。

首都圏の  
横手人  
集まれ〜!

## さんない古里会

〈主な活動〉総会(10月)、役員会、いものこまつり協賛など。(年会費)2,000円  
 ■代表/会長 高橋光雄 ■申込・問・事務局/岩崎富美江 TEL.03-3684-5594

例年首都圏で開催している「さんない古里会」は、昨年10月に「第34回総会・懇親会」を予定していましたが、コロナ感染拡大防止の観点からやむ無く中止とさせて頂きました。そのため、皆さんとお会いして故郷の話や故郷のおいしい物を食べる事ができませんでした。そこで、皆さんに何か喜んでいただけると、会員と山内との絆を深めることはできないかと役員で話し合い、「山内の土産を贈ろう!!」ということになりました。



市当局のご支援と「道の駅さんない」さん、「山菜里」さんにご協力をいただき送ることができました。会員の皆さまから、次のような喜びの声をいただいております。  
 ◎懐かしい故郷の品々をありがたうございました。毎年皆さんと会えることが何よりの楽しみで古里会に

参加していただきました。今年こそは古里会が開催できるようにと願っています。  
 ◎いぶりがっこも大好きだし、炊き込みご飯もおいしかったです。いものこはやっぱり山内のだよね。とってもうれしかった。これから取り寄せをしようと思います。  
 役員一同、今年こそはとの強い思いを持ち「第35回さんない古里会総会・懇親会」を無事開催できることを切に願っています。  
 つ取り組んでおります。故郷を思い、語り合う集いの場「さんない古里会」へ皆さまのご参加ご加入を心よりお待ちしております。

会員の皆さまに故郷の味をお届けしました。

## 秋田のふるさと雄物川会

〈主な活動〉総会・懇親会(11月)、役員会、秋田県関連行事、応援活動。(年会費)2,000円  
 ■代表/会長 鈴木信公 ■申込・問・事務局/奥山拓雄 TEL.090-4173-3222

2年連続の総会・懇親会中止でしたが、この間、「アルバム作成・配布」などに続いて「ふるさと便」としてわずかですが会員の皆さまにふるさと産品を送りました。書面総会資料送付にあわせて、前からやっていたキャンペーンである「声〇聞かせて」の募集ハガキを同封したところ、多くのお便りが寄せられました。通算では約100通になりました。「声〇特集」のなかから、一部を紹介いたします。  
 ◎SYさん「早めのクリスマスプレゼント?」(笑)  
 ふるさとのおいしい物に大喜び。雄物川会は還暦を機に姉と共に2年続けて参加しました。懐かしい雰囲気を楽しんで心地



雪の中から顔を出すヒロコ。雪の白淡い黄色のヒロコ。そのコントラストがすばらしく、今も忘れられません。  
 ※会の活動が、4月18日、23日「秋田魁新報」に掲載されました。

笑顔の会「秋田のふるさと雄物川会」  
 「コロナ禍のもとで会員とつながる」  
 よい場所となりました。  
 ◎NAさん「2年もお休みしている。とだんだん年齢が増し、今度は東京まで行けるかしらと不安です。今から健康に気をつけ、お会いできる日を楽しみに日々過ごしたいと思っております。  
 ◎OHさん「ラジオやテレビで「秋田」という言葉が出ると条件反射のようにすぐ反応してしまう。春、

## あの店は今!

「高校生のとき通学路にあった金喜書店でよくマンガを買っていました。立ち読みも…(ごめんなさい)。今はどうなっているのでしょうか?」と、お声をいただきました。

### 金喜書店(横手市)

「店の入り口は学校帰りの学生の自転車がいっぱいだ。たね。人気漫画の発売日は特にすこかった」と話すのは、株式会社かねき代表取締役の和泉正之さん。  
 昭和5年に和泉さんの祖父が創業して以来、書店として地域に親しまれてきました。学校からの帰り道や電車を待つ間に寄り、立ち読みをする学生も多くいました。「ただ今では本離れがすごい。漫画は電子書籍があるし、情報もネットで調べれば簡単に手に入るのだから、地域密着型の書店をしたいと思います。」  
 横手にゆかりのある著者のコーナーを設けたり、お客様の細かい要望に応えながら、地域密着型の書店の姿勢を貫いています。



昭和62年頃の写真。入り口には子どもたちの自転車がいっぱい。「カネキで待ち合わせ」は、横手っ子の青春そのもの。



2階でスポーツ用品を販売していたときの写真。冬にはスキー板やゴーグル、ザックなどを求めて多くの親子連れが訪れました。



地域密着型の書店としてがんばっています!

TEL.0182-32-3450  
 住所/横手市四日町2-17  
 営業時間/平日 9:30~18:30  
 日曜日・祝日 10:00~18:00  
 定休日/1月1日  
 (HP)http://kanekishoten.com



代表取締役 和泉 正之さんとスタッフの方々



カフェスペース(写真左)でコーヒーなどを飲みながら、購入した本をゆっくり読むことができます。2階のパソコン教室(写真右)には10代~60代の幅広い世代が通っています。



### 首都圏横手市ふるさと会連絡協議会からのお知らせ

各ふるさと会総会日程のお知らせ  
 ~皆様のご参加をお待ちしております~

- ◆東京大雄会…… 4月9日(土)の予定でしたが今年度は中止となりました。
- ◆首都圏十字会…… 7月2日(土)の予定でしたが9月以降に延期となりました。
- ◆関東地区大森町ふるさと会…… 7月31日(日)
- ◆東京かまくら会…… 9月10日(土)
- ◆さんない古里会…… 10月23日(日)または10月30日(日)
- ◆東京平鹿町会…… 11月6日(日)
- ◆首都圏増田会…… 11月20日(日)
- ◆秋田のふるさと雄物川会…… 11月27日(日)

### 応援してね! ふるさと出身力士

※令和4年5月場所現在の番付



時津風部屋 将豊竜  
 (横手市十字町出身)  
 東幕下33枚目(令和4年3月場所 3勝4敗)

今後の相撲、取組で新しい自分を見せたいと思います。応援、よろしくお祈り致します。



式秀部屋 奥羽桜  
 (横手市平鹿町出身)  
 西序二段90枚目(令和4年3月場所 3勝4敗)

自分らしい相撲をとって、まずは勝ち越しを目指してがんばります。応援をよろしくお祈り致します!

### 情報、求む!!

あなたの近くの横手出身者が経営しているお店の情報を募集中です。

横手市では、県外で飲食店等を経営されている横手とゆかりのある方々との連携を模索しております。

店主等関係者が横手市出身(らしい) 出ている食べ物横手っばい お店に横手弁を話せる方がいる 店名・経営者の氏名(可能であれば)・お店の住所等できるだけ詳しい情報をいただければ幸いです。横手市役所商工観光部 横手の魅力営業課 TEL.0182-32-2117 Mail:yokote-fun@city.yokote.lg.jp



秋田杉で贈られてみては？



秋田杉ボールペン・シャープペンシルセット  
 (寄附金額 18,000円)  
 (提供事業者:株式会社ツルタク)  
 書けば書くほど愛着がわく、  
 天然秋田杉をご堪能ください。  
 ※秋田杉ボールペン・シャープペンシルセット  
 (詳しくはQRコードからご覧ください。)

超凝縮!至高の逸品!



熟成プレミアムレーズン  
 枝付きシャインマスカット  
 (寄附金額 40,000円)  
 (提供事業者:日本料理 里乃や よこやま町店)  
 高級大粒ぶどうを枝付きのまま熟成し、  
 セミドライに仕上げました。  
 ※乾燥果実 1房  
 (詳しくはQRコードからご覧ください。)

令和3年度のふるさと納税寄附金は、総額3億8000万円を超える受領額となりました。  
 皆さまからのご支援により、市街地再開発や子育て支援等の事業や施策をより充実したものにできますこと、そして多くの応援メッセージなどをいただきましたことに、市民を代表して心より感謝申し上げます。  
 皆さまとの大切な「つながり」をより一層強いのにするため、今後も「よこてfun通信」やさまざまなイベント等を通じて横手市の魅力をPRするとともに、「横手愛」のさらなる醸成に努めてまいります。  
 結びに、皆さまのご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます、お礼とご報告といたします。



横手市長 高橋 大

〈令和3年度報告〉  
**ふるさと納税**  
**ありがとうございます**  
**ございました**  
 皆さまからお寄せいただいたふるさと納税は、令和3年度、主に次のような事業に使わせていただきました。

地域子育て支援拠点事業

地域子育て支援拠点事業として、令和3年6月に「ちびっこわくわくフェスティバル」を開催し、総勢約40組の乳幼児とその家族が参加しました。子育て支援センタースタッフとボウリングや作業をしたり、読み聞かせやスタンパラリーを楽しむ機会を提供できました。



子どもたちの笑顔いっぱい!!  
 子育て支援センター スタッフ

市街地再開発事業

市街地再開発事業では、より魅力的なまちづくりを目的にJR横手駅東口地区の再生・更新を行っています。令和4年2月には横手駅前郵便局が新局舎になり、3月には飲食店舗の一部がオープンしました。令和7年3月すべての整備が完了する予定です。



新しい駅前にご期待ください



都市計画課 職員

横手市ふるさと納税は、「さとふる」「わが街ふるさと納税」「ふるさとチョイス」「楽天ふるさと納税」「ANAのふるさと納税」のサイトからお申し込みいただけます。



お問い合わせ 横手市役所まちづくり推進部 地域づくり支援課 TEL.0182-35-2266 FAX.0182-32-4655



シバタ焼肉のたれ(270ml)甘口 540円  
 シバタ焼肉のたれ(270ml)にんにく・玉林 各648円  
 シバタ食品加工  
 横手市十文字町腕越字山道端75-17  
 TEL.0182-42-2173

横手市増田産の「ふじ」リンゴをベースに、15種類以上の食材を使用して丁寧に手づくりしています。隠し味である味噌や梅漬も自家製ですべて手作業によるものです。冬季期間に仕込み、3ヶ月以上地下室で熟成したこだわりのたれは、とろみがあり肉にしっかりと絡みます。漬け込みたれのほか、焼きそばや焼きうどんの味付け、冷奴のたれにとアレンジもいろいろと楽しめます。



代表 地主 知加子さん

このコーナーでは、横手市物産団体連絡協議会・加盟店商品を紹介しています。(横手市内販売価格を表示)



秋田十文字中華そば(2食入) 324円  
 秋田十文字中華そば(カップ麺) 465円・横手やきそば(カップ麺) 432円  
 トヤマフーズ株式会社  
 横手市十文字町大道東38-8  
 TEL.0182-42-0080

地元のご当地商品を数多く手掛けている「トヤマフーズ」から、「秋田十文字中華そば(即席麺)」に続き、「横手やきそば」の即席麺が登場しました!熱湯を注いで3分待つだけで、横手グルメを味わえます。開発に苦労したという麺は、自慢の生麺をオリジナル製法で乾麺に仕上げた本格派です。昔ながらの味わいを手軽に楽しめるのでお土産にもオススメ!



常務取締役 外山 義久さん

よこての逸品

読者プレゼント

応募締切 2022年6月20日(月) 消印有効

- 秋田十文字中華そば(カップ麺)3個  
横手やきそば(カップ麺)2個セット…3名様  
◎提供/トヤマフーズ株式会社
- シバタ焼肉のたれ(270ml)甘口・辛口、  
シバタのポン酢「シバポン」(180ml)セット…3名様  
◎提供/シバタ食品加工
- 秋田県産 あきたこまち 5kg…3名様  
◎提供/アスカフーズ株式会社
- 横手の「んめもの」ポータルサイトセレクション  
「3千円相当の特産品詰め合わせ」…3名様

〈必要記入事項〉

- 住所 ②氏名 ③年齢 ④電話番号 ⑤希望商品番号(第1希望、第2希望) ⑥よこてfun通信の感想 ⑦よこてfun通信で取り上げて欲しいテーマ
  - 官製ハガキでご応募の場合 〒013-0036 秋田県横手市駅前町1番10号 横手の魅力営業課「よこてfun通信 プレゼント」係
  - メールでご応募の場合 E-mail:yokote-fun@city.yokote.lg.jp 件名「よこてfun通信 プレゼント」
- 【個人情報取り扱いについて】  
 ◎応募により得られた個人情報は発送目的以外に利用することはありません。商品は原則として提供先からの発送となります。お届け先情報のみ提供先へ通知させていただきます。  
 ◎ご応募の受付・受理、ご当選の確認に関するお問い合わせにはお答えできません。 ◎当選者は厳正なる抽選の上、決定いたします。発表は当選者様への発送をもって代えさせていただきます。

よこてfun通信の定期好読を希望の方は、右記のQRコードからも申込みできます。  
 購読料・送料等は無料です。



〈横手市HP〉

発行/横手市  
 問い合わせ/横手市役所商工観光部 横手の魅力営業課  
 〒013-0036 秋田県横手市駅前町1番10号(よこてイースト内)  
 TEL.0182-32-2117 FAX.0182-36-0088 E-mail:yokote-fun@city.yokote.lg.jp

またね  
 次の発行は、  
 2022年9月を予定

横手の「んめもの」(おいしいもの)を見つけるお取り寄せするなら

**横手の「んめもの」ポータルサイト**

横手市ホームページ内で、横手の特産品を取り扱っている市内事業者のショッピングサイトを紹介します。あなたもお気に入りの逸品を見つけてみませんか?  
 お気に入りのサイトを探してみよう!  
 横手 んめもの 検索 (横手市HP)

秋田を応援 特別割引特典

**5%OFF!**

秋田ふるさと館 Tel 03-3214-2670  
 あきた美彩館 Tel 03-5447-1010

東京交通会館1F 東京都千代田区有楽町2-10-1  
 ●書籍や送料など、商品以外のものは対象外  
 ●友の会、他の割引との併用不可

ウィング高輪WEST-III1階 東京都港区高輪4丁目10-8  
 ●酒類、書籍や送料は対象外  
 ●ダイニングでのランチは対象外  
 ●イベント時は使用不可 ●他の割引との併用不可